

平成18年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野										
第1節 「潤い」のある教育の推進										
番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3101	少人数指導の充実	教育委員会 教職員課		基礎・基本の徹底と子どもたちの個性や能力を伸ばし豊かな心を育むため、教員免許を有する少人数指導サポートプラン臨時教員を小中学校に配置します。	臨時教員数 30名 (小学校20、中学校10)	135名	40校に40人の少人数指導サポート臨時教員を配置し、児童・生徒一人ひとりの理解や習熟度に応じた授業を行い、基礎学力の向上ときめ細やかな指導の充実を図りました。 臨時教員数 40名  [今後の取組・課題] 平成19年度は、48人増員します。平成20年度も増員を図り、目標数を配置します。		59 市立小・中・養護学校に配置されている少人数指導サポート臨時教員を増員していきます。	
1109	環境教育・学習の推進 (再掲1章1節)	環境経済局 環境総務課	教育委員会 指導1課	環境への意識を高めるため、リサイクル活動や学校緑化コンクールへの参加、学校ビオトープの管理・活用などを充実します。また、環境教育・学習を推進していくための総合的方針・計画を策定し、個人が自発的に環境保全に取り組む活動を支援します。	リサイクル活動実施校62% 環境美化活動実施校63% 総合的方針・計画の検討	90% 90% 策定 (19年度) 推進	「地球温暖化防止」をテーマに、市立の中学2年生から環境保全標語を、小学5年生からポスターを募集し、「環境保全標語・ポスター作品コンクール」を実施しました。入賞作品集及びカレンダーを作成し配布することで環境保全への啓発に活用しました。また、小中学生とその保護者を対象に、環境について学ぶ機会を提供するため「アースミュージカル」を開催しました。 小学校高学年用環境教育指導資料を改訂しました。学校環境緑化コンクールには、29校が参加しました。学校ビオトープについては、小・中学校31校で活用中です。また、環境教育方針・計画策定に向け検討を行いました。 リサイクル活動実施校74% 環境美化活動実施校67%  [今後の取組・課題] 「環境保全標語・ポスター作品コンクール」、「アースミュージカル」については、参加や機会の拡大に努めます。また、環境教育方針・計画を策定します。		-	

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成18年度実施状況一覧表

番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3102	特色のある学校づくり推進事業	教育委員会 指導1課		授業や地域の方々の憩いの場に活用できる自然園づくり、地域にある貴重な植物の保存活動、中学生が算数教師として小学校5・6年の算数の学習をサポートするなど、市立幼小中養護高等学校の創造的な特色のある学校づくりの取組を推進するため、毎年10校程度の推進指定校を定め、各学校を支援します。	指定校応募学校数 139校	164校 (19年度)	<p>継続実施校が15校、新規の指定校が9校の合計24校で取り組みました。辻小学校、南浦和中学校、浦和南高等学校が取り組む「小・中・高・地域が一体となった子どもの育成 - 開かれた・信頼される学校づくりの推進」をはじめ、地域の人材、環境、今までの実績等を生かして、児童生徒の活動を充実・発展させていこうとする事業を実施しています。</p> <p>[今後の取組・課題] 本事業は平成19年度までの時限事業です。今後も教育課題に関わる研究の委嘱などを通して各学校が創意工夫を生かして特色ある学校づくりを推進できるよう、各学校を支援する予定です。</p>			
3103	小・中一貫「潤いの時間」の展開	教育委員会 指導1課	教育委員会 指導2課	国際社会をたくましく豊かに生きる児童生徒の育成を目指すため、潤いの時間を教育課程に新設し、小学校から中学校まで小・中一貫の系統的・継続的なカリキュラムのもと、人間関係プログラム並びに英会話を実施することにより、コミュニケーション能力をはじめとする人間関係の構築に必要な技術を学びます。	実施準備	英会話実施校数 158校  人間関係プログラム見直し	<p>「英会話」カリキュラムを検証・修正し完成させました。また、「英会話」推進委員会とワーキンググループを設置し、「英会話」の充実・推進を図った結果、児童生徒が英語によるコミュニケーションに深い自信をもつようになるなど顕著な成果が表れています。</p> <p>「人間関係プログラム」は、教育特区の認定を受け、平成17年度2学期から全小中学校で実施し、平成18年度には、効果測定さいたま市バージョンを作成しました。英会話実施校数(研究指定校等) 16校</p> <p>[今後の取組・課題] 平成19年度は、「英会話」の目標である全校実施を前倒しして実施することとしました。「人間関係プログラム」は、効果測定を行うとともに、家庭、地域との連携などによる、プログラムの定着を図っていきます。</p>		<p>国際社会をたくましく豊かに生きる児童生徒を育成します。</p> <p>9</p> <p>話し上手、聞き上手になるために必要なスキル等を学ぶ「人間関係プログラム」を実施します。</p> <p>9</p>	
3104	生徒指導総合計画子ども潤いプランの推進	教育委員会 指導2課		次代を担う子どもたちの健全育成を図るため、体験活動の場や機会の充実、家庭・地域社会の教育力の充実、心のサポート体制の確立、魅力ある学校づくりの推進の基本施策に基づいたアクションプログラムを展開します。	推進	アクションプログラムの見直し (19年度)  推進	<p>社会生活を担える自立と社会性のある子供達を育てるため、全市立中学校で職場体験活動や福祉体験活動を実施しました。</p> <p>[今後の取組・課題] 平成19年度も引き続き、全市立中学校で職場体験活動や福祉体験活動を実施します。</p>		<p>中学生が、地域の中で職場体験活動や福祉体験活動等の体験活動を行います。</p> <p>66</p>	

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成18年度実施状況一覧表

番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3105	国際理解教育・交流事業(再掲 7章1節)	教育委員会指導1課	市立中学校の生徒や本市在住の高校生などを海外に派遣する国際交流活動、外国語指導助手や地域在住外国人ボランティアによる国際理解教育を充実します。	外国語指導助手 雇用人数 32名 外国人ボランティア登録者人数 32名	32名 50名	各市立中学校より1名、計56名の生徒を10日間、ニュージーランド・ハミルトン市に、また市内在住高校2年生10名を米国・ピッツバーグ市に15日間派遣しました。外国人ボランティア23名を市内小学校に延べ322回派遣しました。さらに外国語指導助手37名を市内小・中・高等学校に派遣し、国際理解教育・交流事業の推進を図りました。 〔今後の取組・課題〕 小中一貫「英会話」の実施を全校に拡大するため、外国語指導助手の人数を大幅に増員します。外国人ボランティア登録人数を増やすことが課題です。外国人ボランティアについては、地域講師派遣事業として進めていきます。		-	外国人ボランティア登録制度については、地域講師派遣事業として推進して行きます。
3106	情報教育の充実(再掲4章4節)	教育委員会教育研究所	普通教室等の授業用コンピュータの整備を進め、これらを授業に活用するとともに、情報モラルの適切な取り扱いを指導することにより、児童生徒の情報活用能力の向上を図るなど情報社会に参画する態度を育成します。	小学校コンピュータ室にコンピュータ40台を整備した校数 41/100校 普通教室にLANを敷設している学校 0校	101校/101校(19年度1校新設) 158校/158校	パイロット研究校として4校(小学校2校、中学校2校)にLANを整備しました。 また、新設校(2校)も校舎建築工事にあわせて、LANを整備しました。 校内LAN活用研究委員会を設置し、コンピュータ機器を利用した効果的な指導法の研究等を行うとともに、研究発表会を開催しました。 小学校コンピュータ室にコンピュータ40台を整備した校数 91/100校 普通教室にLANを敷設している学校 6校 〔今後の取組・課題〕 平成19年度は、小学校19校 中学校17校 合計36校(辻南小の体育館・図書館整備を含む)にLAN整備を予定しています。また、新規整備校を対象に、校内LAN活用研究委員会を組織し、効果的な指導方法等の研究を進めます。		52 各小学校の普通教室にコンピュータを整備して、インターネット等を利用した授業ができるようにし、児童生徒の情報活用能力の向上を図っていきます。	平成20年度末の計画目標である普通教室にLANを敷設している学校158校については、浦和中学校の開校を追加し、159校に修正します。
2405	特別支援教育事業の推進(再掲2章4節)	教育委員会指導2課	障害のある児童生徒一人ひとりに応じた適切な教育的支援を受けられるよう、市立養護学校に相談センターを整備するなど特別支援教育体制構築に向けた取り組みを進めます。	特殊学級設置校数 35校 通級指導教室設置校 6校	43校 10校 推進	平成18年7月、市立養護学校内に特別支援教育相談センターを開設し、相談体制の整備を図りました。また、特殊学級を2校、通級指導教室を1校に開設し特別支援教育の充実を図りました。また、市立養護学校分教場の基本計画の策定を行いました。 特殊学級設置校数 37校 通級指導教室設置校数 6校 〔今後の取組・課題〕 今後は、相談センター分室を開設(平成19年度)するとともに、特別支援学級設置検討委員会を立ち上げ、児童生徒数の推移及び各学校の教室利用状況等を把握しながら計画的な設置を検討していきます。		11 軽度発達障害を含む、障害のある児童生徒とその保護者を支援するため、専門的な相談室を養護学校に設置します。	

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成18年度実施状況一覧表

番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3107	教育相談・相談室 運営事業	教育委員会 指導2課	教育に関する様々な相談体制の充実のため、教育相談室や適応指導教室を運営するとともに、すべての中学校に設置したスクールカウンセラーやさわやか相談員によるカウンセリング等、児童生徒の心の悩みや不安の解消に努めます。	推進	充実	教育相談室では、学校生活上の課題や悩みの相談に応じました。特に不登校の相談については、児童生徒の状態を考慮しながら、教育相談室から適応指導教室につなげ、相談担当の相談員と適応指導教室の指導員が、保護者や学校との連携を図りながら、学校復帰に向けて指導にあたりました。また、発達相談、就学相談を専門に行う特別支援教育相談センターを開設するとともに、19年度の分室開室に向けて準備しました。  [今後の取組・課題] 市立全中学校に配置しているさわやか相談員とスクールカウンセラーが、小学校での活動を充実できるように、システムの構築や活動内容の検討など、準備を進めます。			
3108	過大規模校解消事業	教育委員会 教育総務課	小学校の新設などにより、過大規模校の解消を図ります。	事業中	推進	平成17年度に引き続き、辻南小学校の建設工事を行い、平成18年度末に完成いたしました。また、つばさ小学校建設に向けて、実施設計を行いました。  [今後の取組・課題] 平成20年度末のつばさ小学校完成に向け、平成19年度から建設工事に着手していきます。			
3109-1	小中学校整備事業 [施設改修等の推進]	教育委員会 学校施設課	良好な学習環境を確保するため、老朽化した校舎の改修や改築などを行うとともに、校庭の芝生化や武道場未設置の中学校で武道場整備を進めます。	事業中	推進	学校施設の安全性や快適性を図りつつ、教育環境の質的な向上を推進するために校舎等の改築や改修及び施設修繕を実施しました。また、校庭芝生化等に関する意向調査を基に学校と協議し、平成19年度に整備する学校(1校)を選定しました。  [今後の取組・課題] 老朽化した校舎等を計画的に整備し、武道場未設置の中学校についても設置を進めます。既存の芝生について、管理方法や養生期間に関し、PTAや地域等に協力を得ながら維持していくとともに、引き続き芝生化の効果について、調査・研究を行います。		64	小学校の校庭の芝生化を進めます。
3109-2	小中学校整備事業 [耐震補強事業]	教育委員会 学校施設課	新耐震設計法(昭和56年)以前の基準により建築された校舎等の耐震性を向上させるため、耐震診断を行い必要に応じ校舎・体育館の耐震補強工事を実施します。	事業中	推進	耐震2次診断を53棟(体育館を含むと65棟)、補強設計を34棟、補強工事を12棟行いました。平成18年度末時点での工事完了棟は、85棟となりました。  [今後の取組・課題] 平成27年度を目標に耐震化が完了するよう、引き続き、耐震2次診断、補強設計、補強工事を進めます。		52	新耐震設計法(昭和56年)以前の基準により建築された校舎の耐震補強を実施します。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成18年度実施状況一覧表

番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3109-3	小中学校整備事業 [空調設備設置事業]	教育委員会 学校施設課		図書室・音楽室に加え、普通教室への空調機設備を整備します。	事業中	推進	新たに特別教室123室に空調設備を設置し、平成18年度末で237室の整備が完了しました。 [今後の取組・課題] 特別教室については平成19年度に整備を完了し、普通教室については平成19年度及び平成20年度の2か年で整備します。		小・中学校の普通教室64室に空調設備の整備を推進します。	
3110	学校図書館の充実	教育委員会 教職員課	教育委員会 教育研究所	市立の小中学校全てに、司書を配置するとともに、図書館コンピュータを設置し、蔵書情報のデータベース化・ネットワーク化により、蔵書などの共同利用化を進め、児童生徒の意欲的な学習活動や読書活動を推進します。	図書館司書 141人 図書館コンピュータ 91校	158人(全小中学校) 158校(全小中学校)	新たに7校に司書を配置しました。17校に学校図書館コンピュータを新規整備するとともに、既導入校のうち56校の機器の入替を行いました。これにより、児童生徒の読書活動を向上させるとともに、学校図書館の活性化を推進しました。 図書館司書 148人 図書館コンピュータ 124校 [今後の取組・課題] 平成19年度は、司書10名の増員を図るとともに、図書館コンピュータを新規34校・新設校2校への整備、既導入校14校の機器の入替を行い、目標の全校配置・整備を前倒して実施します。		市立小・中学校の学校図書館に図書館用コンピュータを整備します。  市立小・中学校に学53校図書館司書を配置します。	
3111	学校給食施設の整備	教育委員会 学校施設課		各学校(地域)の特色を生かした給食の実施及びきめ細やかな食の指導の充実を図り、児童生徒に、より安全でおいしい給食を提供するため、給食センターから給食の提供を受けているすべての小中学校に単独校調理場を設置します。	単独校調理場 整備済の学校 124校	136/158校	単独校調理場について、4校(鈴谷小、与野南小、辻南小、浦和中)での新設と1校(日進北小)での改築を行いました。 単独校調理場整備済の学校 134校 [今後の取組・課題] 毎年4校程度整備し、平成25年度までに整備を完了いたします。		-	現況(平成17年度当初)、平成20年度末の計画目標につきましては、小中併設校が2校あるため、単独校調理場整備済の学校126校、138/158校に修正いたします。
3112	市立高等学校の整備	教育委員会 学校施設課		老朽化した学校施設の耐震補強工事や改築を計画的に進めます。	事業中	推進	平成18年度までに、校舎19棟・体育館1棟の耐震1次診断及び優先度調査を実施しました。 [今後の取組・課題] 校舎耐震2次診断を行い、必要に応じて耐震設計及び工事を推進していきます。		-	

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成18年度実施状況一覧表

番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3113	中高一貫教育の推進	教育委員会 指導2課	教育委員会 学校施設課	市立浦和高校における併設型中高一貫教育校開設に向けて、具体的な建設計画の立案、教育方針・教育目標などの策定を行います。	事業中	併設型中学校 開校 (19年度)	入学説明会を、6月及び10月に開催し、教育内容、入学者選抜方法等を周知し、生徒募集要項・入学願書を2,316人に配布しました。第1次入学者選抜を志願者1,993人全員に対して平成19年1月20日に実施し、また、1月27日の第2次選抜を経て平成19年4月の市立浦和中学校の開校には男女各40人、計80人が入学しました。  [今後の取組・課題] 中・高の教職員が一丸となって、高い知性と豊かな感性・表現力を備えた国際社会に貢献できる生徒の育成を目指し、都市型の中高一貫教育を推進します。平成19年4月からプール、研修合宿棟の建設に着手します。		市立浦和高等学校内に市立浦和中学校を 50 新設し、両校による併設型の中高一貫教育を実施します。	平成19年4月の組織改正に伴い中高一貫教育校開設準備室より担当課を変更しました。
3114	さいたま教育コラボレーション構想の推進	教育委員会 指導1課		埼玉大学と連携し、学生による児童生徒への学習支援などの教育ボランティア活動や教員の大学講座への参加、学生へのキャリア教育などを実施し、教職員の資質向上と学校教育の充実を図ります。	推進	推進	埼玉大学学生による学習支援ボランティア(アシスタントティーチャー)を、小・中・養護学校113校に133人配置しました。また、教員研修として埼玉大学の講座を、延べ25講座97名の小・中学校教員が受講しました。  [今後の取組・課題] 教員養成に関しては、埼玉大学教育学部の科目であるフィールドスタディーへの対応、アシスタントティーチャー増員のための募集方法の検討等を行っていきます。教員研修では、受講講座数を増やし、選択を可能とします。今後は10年経験者数の増加に伴う講座数を確保と共に、より実践的な内容の講座の増設を図ります。		-	教員研修については、教育研究所が担当しています。
3115	地域講師派遣事業	教育委員会 指導1課		市内小・中学校の各教科や総合的な学習の時間などに、地域の人材を講師として派遣します。	派遣人数 757人	790人	市内の小中学校の各教科や総合的な学習の時間などに、小学校471人、中学校161人の地域講師を派遣しました。小学校では、米作り、生け花、英語活動等、中学校では、琴の演奏や手話体験等をご指導いただき、大きな成果をあげることができました。派遣人数 632人  [今後の取組・課題] 学校間で活用人数の差があるため、活用例を示し、より活用が図られるようにします。		-	計画目標の現況(H17年度当初)欄の数値は、17年度当初の見込みの数値です。平成16年度末の実績は、498人でした。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。



平成18年度実施状況一覧表

番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
3116	地域に開かれた学校運営の推進	教育委員会 指導1課 指導2課	教育委員会 教育総務課	家庭・地域の声を生かし、地域の学校としての運営を行うため、市立小・中・高等・養護学校全てにおいて、学校評議員制度を導入するなど、市民の視点での教育改革を進めます。	学校評議員設置校 159校	163校 (全小中高養護学校)  推進	小・中学校156校、高校4校、養護学校1校に学校評議員が置かれ、保護者や地域住民の意見や考え方を学校運営に反映しました。また、視察やフォーラム等への出席により、コミュニティスクールの調査・研究を引き続き行いました。 学校評議員設置校 161校  [今後の取組・課題] 新設校を含め、学校評議員を配置し、保護者・地域に開かれた学校運営を推進します。また、教育改革の調査・研究及び検討の結果を踏まえ、さいたま市独自の市民の視点による教育改革のための仕組みづくりを検討します。		65 市民、学校、教育委員会が連携・協力を進め、保護者や地域住民が学校づくりに参加する教育改革を実行します。	
3117	学びの向上さいたまプランの策定・推進	教育委員会 指導1課		基礎学力に加え、学ぶ意欲や自ら学び考える力の向上のために、学びの向上さいたまプランを策定し、基礎学力定着プログラム、国語力向上プランなどを推進します。また、児童生徒の得意分野を育成するために、(仮)全ての子供に得意分野づくりプログラムを策定し推進していきます。	構想・検討	学びの向上さいたまプラン、基礎学力定着プログラム、国語力向上プランの策定(17年度)  (仮)全ての子供に得意分野づくりプログラムの策定(18年度)  推進	学びの向上さいたまプラン推進会議を3回開催し、プラン全体の方向性や諸施策の進捗状況等について、協議・検証しました。また、プランの一部を八都県市首脳会議に提案し、八都県市共同で「すくすく のびのび 子ども生活習慣改善」キャンペーンとして推進することとなりました。また、平成17年度から、庁内会議において、得意分野形成の具体的な方向性の検討を行い、平成18年度は、具体的な事業内容、効果的な方策、名称などについて検討を行いました。  [今後の取組・課題] 引き続き、学びの向上さいたまプラン推進会議で、プラン全体について、不断の見直しを行います。また、得意分野づくりについては、事業内容を明確にし、19年度中に事業を実施します。		10 知育の総合的な振興策「(仮称)学びの向上さいたまプラン」を策定します。  51 「(仮称)学びの向上さいたまプラン」を構成する各種施策を円滑に実施します。  67 学校での教育活動を通じて、児童生徒に得意分野を形成します。	
第3章 教育・文化・スポーツの分野										
第2節 生涯学習の振興										
番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
3201	図書館整備事業	教育委員会 北浦和図書館		市民の主体的な学習の場として需要の高い図書館を充実するため、(仮)中央図書館(浦和駅東口市街地再開発ビル内)や地区図書館(片柳図書館、北図書館)を整備します。	事業中	片柳地区図書館開設(18年度) (仮)中央図書館、北図書館開設(20年度)	平成18年5月に片柳図書館を開館するとともに、中央図書館、北図書館の開設準備を行ないました。  [今後の取組・課題] 平成19年11月29日の中央図書館開館、平成20年5月の北図書館開館を目指して準備を進めていきます。		-	平成19年度より事業の担当課が、大宮図書館を除き、北浦和図書館のみとなりました。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成18年度実施状況一覧表

番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3202	市民大学の充実	教育委員会 生涯学習振 興課		市民の高度で専門的な学習意欲に対応するため、市民大学の講座内容を充実し、魅力的なカリキュラムづくりを進めるとともに、各生涯学習施設と連携し多様な学習機会の場を提供します。	受講者 372人/年	500人/年	平成18年5月から11月の期間に教養一般・教養発展・文学・歴史・宇宙の5分野の講座を開設し、20代から80代までの幅広い市民の方々370人が受講しました。  [今後の取組・課題] 参加型やボランティア養成など、学んだ成果を生かせる講座内容の開設に取り組んでいきます。		-	
3203	(仮)鈴谷地区公民館建設事業	教育委員会 生涯学習総 合センター		地域住民の生涯学習とコミュニティの活動拠点となる公民館を鈴谷地区に整備します。	検討	開設 (19年度)	平成19年4月に地域住民の生涯学習と、コミュニティの活動の拠点として、鈴谷公民館を開館しました。		## 地域住民の生涯学習とコミュニティの活動拠点となる公民館を鈴谷地区に整備します。	
3204	青少年の健全育成事業(再掲6章2節)	保健福祉局 青少年課		青少年の健全育成のため、青少年が主体的に参加できる成人式や青少年の主張大会の開催、青少年育成さいたま市民会議が行う地域巡回活動や非行防止キャンペーンへの支援、青少年健全育成を目的とした市民活動への支援などを行います。	推進	推進	新成人の意見を取り入れ新成人主体の成人式を開催し、8,629名が参加しました。また、青少年さいたま市民会議及び青少年健全育成を目的とした市民活動への補助・支援等を行いました。  [今後の取組・課題] 青少年が主体的に参加できる事業を充実・推進します。		-	平成19年4月の組織改正に伴い、市民局より保健福祉局に青少年課を移管しました。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。



平成18年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野										
第3節 生涯スポーツの振興										
番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3301	秋葉の森総合公園整備事業(再掲4章3節)	都市局	都市公園課	緑に囲まれた豊かな自然環境の中で、快適にスポーツを楽しめる多目的スポーツ広場を整備します。	事業中	ピクニック広場整備 (17・18年度) 散策路整備 (19・20年度) 事業中	北側ゾーン10haのうち、ピクニック広場に係る地盤改良を行いました。 [今後の取組・課題] 平成20年度に北側ゾーン、平成25年度南側ゾーンが完成する予定です。 南側ゾーンについては自然を活かした公園整備が計画されているため、環境に負荷をかけない整備を推進していきます。		-	平成19年4月の組織改正に伴い、公園みどり課より担当課を変更しました。
3302	校庭開放夜間照明整備事業	教育委員会	体育課	市民の身近なスポーツ・レクリエーション活動の場として、市内小中学校の夜間開放を行うため、照明設備未設置の学校での整備を計画的に進めます。	設置済 18校	22校	西区・指扇中学校に夜間照明を設置し、夜間の開放を開始しました。それにより、幅広い世代のニーズに応じたスポーツ・レクリエーションの場の提供が可能となりました。 設置済 19校 [今後の取組・課題] 周辺環境に配慮し、未設置区の学校へ計画的に設置を予定しています。		-	
2408	障害者のスポーツ参加の推進(再掲2章4節)	保健福祉局	障害福祉課	障害者のスポーツ活動の促進のため、全国障害者スポーツ大会等に参加するとともに、障害者スポーツ教室の開催、障害者の交流の場であるふれあいスポーツ大会についても充実を図ります。	初級障害者スポーツ指導員養成0名 推進	120名 推進	全国障害者スポーツ大会は、出場選手枠全員の参加を達成できました。 スポーツ教室の参加者数は、わずかではありますが増加しました。 [今後の取組・課題] スポーツ教室の開催については、より多くの方に参加いただけるよう、周知方法等の検討を行います。		-	スポーツ指導員の養成は、障害者自立支援法の施行に伴い、平成18年度から、都道府県に移管されましたので、今後は、障害者スポーツ教室などを通じて、障害者のスポーツ参加を推進していきます。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成18年度実施状況一覧表

番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3303	国際スポーツイベントの開催支援・招致(再掲7章1節)	政策局 スポーツ企画課	埼玉県を主体として開催される「2006年FIBAバスケットボール世界選手権」の会場市として県と連携し、大会を支援します。また、各種国際スポーツ大会の招致に取り組み、さいたま市を世界に発信します。	バスケットボール世界選手権開催準備	バスケットボール世界選手権開催(18年度)推進	「2006年FIBAバスケットボール世界選手権」については、埼玉県と共に大会のPRと開催気運の醸成を図り、ファイナルラウンドを行ったさいたまスーパーアリーナでは、観客動員数は126,150人となりました。24の国・地域の人々が参加し、世界130以上の国に映像が配信されたことにより、国内外にさいたま市をPRするとともに、イメージアップが図れました。ユニバーシアード等国际大会招致については、市内スポーツ施設の状況や、開催可能な国際大会の競技を調査しました。  [今後の取組・課題] 引き続き、国際スポーツ大会の招致に向けて、対象競技の選定やその会場のあり方、国際スポーツ大会がまちづくりに与えるメリット等について、調査研究を進めていきます。		56 国際スポーツイベント「2006年FIBAバスケットボール世界選手権」の開催を支援します。  56 ユニバーシアード等国际大会招致のための運動を展開します。	
3304	シティマラソンの開催	教育委員会 体育課	市民のスポーツに対する意欲・関心を促すため、全国規模のマラソン大会を開催します。	参加者 3,500人/年	4,000人/年	平成18年11月19日(日)にハーフマラソンの部及び3Kmの部を実施し、3,832人の参加申込者(出走者3,277人、完走者3,210人)がありました。  [今後の取組・課題] 引き続き安全に配慮して実施します。		-	
3305	さいたま・たていわ親善ツデーマーチの開催(再掲7章1節)	教育委員会 体育課	友好都市の市民がともに村内を歩き、豊かな自然や地域文化への理解、健康・体力づくりをテーマに交流を図るツデーマーチを開催します。	参加者 163人/年	200人/年	平成18年10月7～8日、南会津町において実施しました。177人の参加者全員が完歩しました。  [今後の取組・課題] 参加者の安全を確保しながらコースの工夫を行います。		-	

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成18年度実施状況一覧表

番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3306	総合型地域スポーツクラブ支援事業	政策局 スポーツ企画課	教育委員会 体育課	「一市民スポーツ」を基本理念に、多様な世代による地域の自主的な企画・運営を行う総合型地域スポーツクラブづくり支援する。	総合型を目指して活動しているクラブ数 9クラブ(8区)	各区 1クラブ以上	平成18年度に総合型地域スポーツクラブ推進委員会を2回開催し、総合型を目指すクラブ間の情報交換と課題解決の方策について検討する場としました。クラブ側の要望から学校体育施設の利用、公共施設の利用を支援しました。なお、平成18年度末には、総合型を目指して活動しているクラブが、11(8区)になりました。  [今後の取組・課題] スポーツ振興計画の目標でもあります、各区1クラブ以上のクラブ発足を目指します。		58 総合型地域スポーツクラブの支援を通じて、地域サッカーチームを育成します。	
3307	さいたまシティカップ開催事業(再掲7章1節)	政策局 スポーツ企画課		浦和レッズ・大宮アルディージャと世界の強豪クラブチームとの国際親善試合を定期的に開催し、多くの市民に世界の一流プレーを間近でみる機会を提供し、「サッカーのまちづくり」を国内外に発信します。	累計入場者数 109,910人	360,000人	平成18年7月31日第4回さいたまシティカップを浦和レッズ対FCバイエルン・ミュンヘン(ドイツ)の対戦で開催し、会場となった埼玉スタジアムにさいたま市民をはじめとする29,019人の観客を集めました。 累計入場者数 196,072人  [今後の取組・課題] 過去4回の開催同様に、多くの市民に世界の一流プレーを間近で見る機会を提供していきます。		55 さいたまシティカップを開催します。	
3308	サッカーのまちづくり推進事業	政策局 スポーツ企画課		サッカーのまちづくり推進協議会による高校サッカー選手団海外派遣や浦和レッズ、大宮アルディージャへの支援などを行い、サッカーを核とした市民スポーツの振興、地域の活性化を推進します。	市内の施設でサッカーに親しんだ(競技、観戦した)人々の数 1,293,000人/年	1,500,000人/年	さいたま市サッカーのまちづくり推進協議会による高校サッカー選手団海外派遣や浦和レッズ・大宮アルディージャへの支援などを行いました。 市内の施設でサッカーに親しんだ人々の数 1,500,512人  [今後の取組・課題] サッカー指導者講習会など、新たな事業の展開に取組んでいきます。		-	

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成18年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野										
第4節 さいたま文化の創造										
番号	事業の名称	担当課		現況(H17年度当初)	現況(H17年度当初)	H20年度末計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3401	盆栽文化の振興・活用(再掲5章2節)	市民局文化振興課	環境経済局観光政策室	盆栽文化振興・活用基本構想に基づき、盆栽関連施設を整備し、施設を核とした盆栽文化ネットワークを構築します。また盆栽村の積極的なPRを行い盆栽文化を振興します。	盆栽村来訪者 20万人/年	40万人/年	平成19年3月に、関係団体との協議やパブリックコメントにより寄せられた意見を踏まえて、施設の位置付けや機能などを盛り込んだ「盆栽関連施設等基本計画」を策定しました。 また、盆栽関連施設の建設予定地の地質調査及び土壌分析調査を行いました。 平成18年度の盆栽村来訪者 23.9万人  [今後の取組・課題] 盆栽関連施設等基本計画の策定に時間を要し、計画に遅れがでていますが、盆栽関連施設の基本・実施設計を行うとともに、旧施設の解体工事を行います。		さいたま市の地域資源であり、世界にも誇れる盆栽文化の振興・活用を図ります。 79	平成19年度より事業の担当課が、政策局都市経営戦略室(旧総合政策担当)を除き、文化振興課と観光政策室のみとなりました。
3402	氷川参道の整備(再掲4章1節)	都市局大宮駅東口まちづくり事務所		都心における緑や歩行者のネットワークを形成するため、氷川参道(大宮中央通線以南)をうるおいのある歩行者空間として整備します。また、地元まちづくり組織等とのパートナーシップにより緑の保全を図りつつ沿道等のまちづくりを進めます。	氷川参道(大宮中央通線以南)における歩行者空間の確保率 41.6%	100%	氷川参道の整備については、地元住民や関係機関との協議を踏まえ作成した歩車分離整備基本計画に基づき詳細設計を行い、歩車分離工事を平成19年3月に完了しました。 また、一の鳥居ひろばについても事業用地を取得し、デザイン等を検討するワークショップを3回にわたって開催し、その成果を詳細設計に反映させて、整備工事を実施し、平成19年2月に完成しました。 歩行者空間の確保率76.9%  [今後の取組・課題] 安全な歩行空間確保のための整備が未実施である氷川参道北区间(大宮中央通線以南250m)において、関係権利者及び沿線住民とのコンセンサスを図るとともに、地元まちづくり協議会との協働により歩車分離整備及び周辺の安全対策を推進していきます。		大宮駅東口再生プランを実現するため、大宮駅周辺計画管理による新たなまちづくりに取り組みます。 71	平成19年4月の組織改正に伴い、大宮駅周辺計画管理より担当課を変更しました。
3403	見沼通船堀公園整備事業	都市局都市公園課		国指定史跡の見沼通船堀と周辺の斜林を取り込み、見沼田圃の環境に調和した、歴史と自然に触れ合える総合公園を整備します。	事業中	事業中	事業用地(約0.25ha)の取得を行いました。  [今後の取組・課題] 今後も事業用地を継続的に取得し、早期の開設を目指します。		-	平成19年4月の組織改正に伴い、公園みどり課より担当課を変更しました。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成18年度実施状況一覧表

番号	事業の名称	担当課	現況(H17年度当初)	現況(H17年度当初)	H20年度末計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3404	鉄道博物館の整備促進(再掲5章2節)	市民局文化振興課		促進	完成(19年度)	平成19年10月14日の開館に向けて、建設工事は順調に推移しました。 [今後の取組・課題] 開館に向けてのPR事業や関連イベント等について、関係部署、団体、事業者と協議を行っていきます。		82 鉄道博物館の整備を促進します。	
3405	スポーツ文学賞事業	市民局文化振興課		推進	推進	スポーツ文学賞135編、スポーツエッセイ賞192編の中から、1次選考・最終選考を経て、スポーツ文学賞では大賞1名、優秀賞2名、佳作2名を、また、スポーツエッセイ賞ではエッセイ賞1名、優秀賞1名、佳作2名を決定し、平成18年12月に受賞作品集「SPORTS STORIES」の刊行を行いました。 [今後の取組・課題] 第3回スポーツ文学賞より新たにエッセイ賞を新設しました。今後は、応募数の増加を図るとともに、幅広い年代からの応募が課題となります。		-	
3406	漫画・ユーモア文化の振興事業	市民局文化振興課		推進	推進	国際漫画フェスティバルでは、「MOTTAINAI(もったいない)」をテーマに国内外の漫画家が描いた208点の作品を展示し、期間中に21,276人の来場者がありました。ユーモアフォトコンテストには、全国から818人、2,101点の応募があり、入賞作品展を開催しました。アジア漫画展では「アジアの若者文化」をテーマに、10人のアジア各国の漫画家が描いた77作品を展示し、期間中に1,135人の来場者がありました。 [今後の取組・課題] 平成20年5月供用開始となる「プラザノース」内に芸術創造・ユーモア機能を導入し、漫画・ユーモア文化の振興を図ります。		-	

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成18年度実施状況一覧表

番号	事業の名称	担当課		現況(H17年度当初)	現況(H17年度当初)	H20年度末計画目標	H18年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3407	(仮)岩槻人形会館整備事業(再掲5章2節)	市民局	文化振興課	さいたま市の伝統文化のひとつである人形文化を広く内外に発信し、生きた文化として継承するため、地域の魅力とにぎわいを高める拠点となる(仮)岩槻人形会館を整備します。	構想・検討	完成	(仮称)岩槻人形会館整備基本構想・計画策定懇話会を3回開催し、基本構想(案)を取りまとめるとともに、事業用地の選定を進めた結果、岩槻城址内に内定しました。 [今後の取組・課題] 用地選定の遅延によりスケジュールに遅れが出ていますが、引き続き懇話会を開催して、早期に基本構想・計画を策定するとともに、用地の取得についても平成19年度の早い時期に契約ができるよう交渉を進めます。		平成20年度を目標に81岩槻人形会館を建設します。	
3408	歴史的資源の保存・整備事業	教育委員会	文化財保護課	貴重な文化遺産である文化財を次世代へ継承するとともにその活用を図るため、国指定史跡真福寺貝塚や県指定史跡岩槻藩遷喬館などの文化財の保存整備を進めます。	推進	推進	真福寺貝塚整備事業では、史跡指定地内に残る私有地のうち1筆を、所有者の申出に応え買上げました(買上げ面積850.85㎡)。また、遷喬館整備事業では、岩槻藩遷喬館の隣接地の整備を図るため、用地測量等を行いました。 [今後の取組・課題] 真福寺貝塚整備事業では、残る私有地の所有者の意向に留意し、公有地化を進めます。また将来の史跡公園としての整備に向けた取り組みにも着手します。岩槻藩遷喬館を歴史的資源としてより有効に活用するため周辺環境の整備を図ります。		-	遷喬館整備事業は、博物館が所管しています。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。